

vol.59
2024

特集

心臓・下肢血管用

血管造影装置の紹介

放射線技術科 …… 2・3 P

各科日より

精神科つてどんな科？

精神科 …… 4 P

手間をかけずに簡単に一品で栄養（ほん

栄養科 …… 5 P

地域がん診療連携拠点病院として地域の方に

「思いやりのある緩和ケア」を届けるために

（緩和ケア委員会の紹介） …… 6・7 P

となみそうごう大文化祭

8 P

院長伝言板

8 P

市立砺波総合病院憲章

わたくしたちは、市立砺波総合病院の職員であることを誇りとし、愛と奉仕の精神のもとに、病気で悩める人々を癒すことに互いの心を結集し、この憲章を定めます。

市立砺波総合病院は

- 1 患者さんの権利を尊重します
- 1 医療の安全を追求し 信頼される医療を提供します
- 1 医療・福祉・介護・保健分野との連携に努め
地域医療の推進に努めます
- 1 職員が働く喜びと誇りの持てる職場をめざします
- 1 健全な病院経営に努めます

理 念

地域に開かれ
地域住民に親しまれ
信頼される病院



市立砺波総合病院
Tonami General Hospital

〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号
TEL 0763-32-3320(代表) FAX 0763-33-1487(総務課)
E-mail tgh-somu@city.tonami.toyama.jp
ホームページ <https://www.med.tonami.toyama.jp/>

心臓・下肢血管用

血管造影装置の紹介

放射線技術科

主任

水木

康博

—

血管内治療（IVR）

血管内治療（IVR）とはカテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入し、血管の内側から治療する方法です。カテーテルを使用して手技を行うため「カテーテル治療」とも言われ、主に大腿の付け根もしくは腕の動脈などから挿入します。そのため、体を切開せずに低侵襲な治療が行うことができ、身体的負担を軽減することが出来るのが大きなメリットになります。手術室ではなく画像診断科に血管造影装置があり検査や治療を行っています。

当院には2台の血管造影装置があります。そのうち主に心臓や下肢の検査や治療を行う血管造影装置が2022年11月にフィリップス社製の『Azurion（アズリオン）7』に更新され約1年が経過しました。そこで新しくなった装置の特徴を紹介させていただきます。



装置の外観

① 低被ばくと高画質を両立

フィリップス社が開発した『Clarity（クラリティー）IQテクノロジーシステム』により、低線量を実現することができました。従来装置と比較して被ばく線量を抑制したカテーテル検査やカテーテル治療が実現可能となり、被ばくの量は当院で以前使用していた血管造影装置と比較して約1/2～1/3の線量まで減少し患者さんに優しくなりました。

② 装置の操作が簡単

皆さんがお使いのスマホやタブレットなどと同じような『タッチスクリーン操作モジュール』が搭載され感覚的に操作することが可能になりスムーズな治療が行うことが出来るようになりました。



タッチスクリーンの写真

③ 自由自在の58インチ大型カラーモニター

以前の装置では小型の液晶モニターを6つ組み合わせて使用していましたが、Azurion7では1つの大きなモニターで最大8チャンネル同時表示が可能となりました。またレイアウトが常に変更可能となり、先ほど紹介したようにタッチパネルでドラッグ&ドロップで瞬時に切り替えることができ、治療段階ごとに必要な画面を見やすい所に表示することが可能となります。



モニター
(レイアウトや大きさを自由
に変えることが出来ます)

④ 目標が分かりやすくなった。

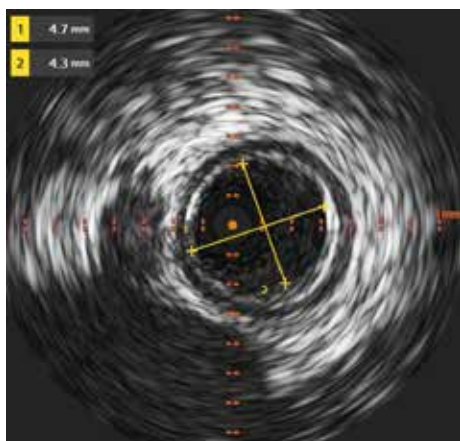
従来は撮影した画像を参考画像として横に並べ血管の走行を観察し、時には造影剤を少量ずつ使用し血管の走行を確認しながら検査や治療を進めていくのが一般的でしたが、『リアルタイム動画ロードマップ機能』を用いることで、撮影した血管を赤色に道筋として1つの画面に重ね合わせることで手技がスムーズに行うことが出来るようになりました。それにより、目的の血管の流れや治療箇所が分かりやすくなり時間の短縮や造影剤の使用量を減らすことが出来ます。



リアルタイム動画
ロードマップの図
(赤く表示されているのが道筋)

⑤ 血管造影装置と血管内超音波装置が合体

治療する際に血管の中に血管内超音波 (IVUS (アイバス)) 装置を使用することで血管の中の様子を確認することができ、より正確な治療を行うことが出来ます。当院には2台のIVUS装置がありましたが、Azurion7になったことで1台が血管造影装置と一体となり撮影室、操作室どちらでも操作可能となりました。また1台が一体となったことにより広い動線を確認できるようになりました。一体になったIVUSは当院では主に下肢血管の治療時に使用しています。



IVUSの画像
(血管の太さを計測することができ、正確な
治療につながります)



下肢動脈の画像

これらの特徴により、以前と比べると新装置では治療時間の短縮、被ばく量や造影剤使用量の低減につながり患者さんに早く優しく、より精度が高い医療を提供できるようになりました。

これからも循環器内科医師をはじめ看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師がチームとなり、心筋梗塞など緊急性の高い治療を24時間体制で提供していきたいと思っています。

精神科ってどんな科？

当院の精神科では3名の常勤医と多職種スタッフが連携して精神科全般の診療を行っています。精神科での入院および外来診療についてご紹介します。

●入院患者さんの診療

精神科病棟では患者さんの病状に応じて、薬物による治療と並行して精神療法やカウンセリング、リハビリテーションなどを行っています。また、精神障害をお持ちの患者さんが手術など身体疾患の治療を行うため精神科に入院し、他の診療科と連携して診療を行うこともあります。

他の診療科に入院中の患者さんが不眠やせん妄等の精神症状を来した場合には、主治医の先生と相談しながら症状が和らぐよう薬物療法等を行っています。

●せん妄って何？

身体の病気で入院治療が必要となる場合、もともと認知症であった方に限らず、その兆候がなかった方でも身体の不自由や苦痛に加え、入院という生活環境の変化などストレスから『意識が混乱した状態』が生じ、精神的苦痛や不安を強く経験することがあります。また、もの忘れが進行したり、不機嫌・怒りっぽくなったり、幻覚・妄想、徘徊などの症状がみられることもあります。その結果、点滴や医療機器等を自ら外して本

来の病気の治療に支障を来したり、転倒や骨折をしてしまうことなどが懸念されます。

●チーム医療について

高齢の入院患者さんでは認知症による症状が問題になったり、せん妄を併発することがあります。認知症ケアチームでは認定・専門看護師、公認心理師、精神保健福祉士、作業療法士、薬剤師とともに院内ラウンドとカンファレンスを定期的に行い、ケアに関するアドバイスをを行っています。

また、がん患者さんの診療では精神面での支援を行うため、緩和ケアチームの一員として精神科医と公認心理師が関わり、患者さんの苦痛や不安が軽減できるよう努めています。

●外来患者さんの診療

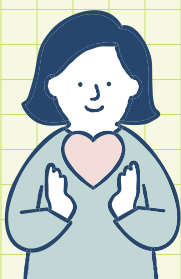
通院患者さんの再診は原則と

精神科

医長 立脇 信彦

して予約制で行っており、適宜公認心理師によるカウンセリングや心理検査、精神保健福祉士による障害福祉サービス等に関する情報提供を行っています。また、初めて当科を受診される場合には問診や必要に応じて諸検査を行うため、診察の順番が前後したり長時間お待ちになってしまう場合がございます。

コロナ禍におけるメンタルヘルスの不調や高齢化に伴う認知症患者さんの増加等もあります。皆さんが心身とも健やかに過ごせるようサポートさせていただきます。お困りのことなどございましたら、精神科までご相談ください。



食材もお手軽!

調理も簡単!

常備食材を活用!

手間をかけずに簡単に 一品で栄養ごはん



体が冷えると、免疫力が下がり感染症にかかりやすく、筋肉が硬くなりケガをしやすくなります。
シチューは肉や魚などのたんぱく質、牛乳のカルシウム、野菜のビタミン食物繊維など、いろいろな栄養素が一度に摂れるおかずです。
温かいシチューで身体を温め感染症やケガを予防しましょう!



鮭ときのこのクリームシチュー

材料 (4皿分)

生鮭……………4切れ
玉ねぎ……………1個
ブロッコリー……………1/2個
しめじ……………1/2パック
にんじん……………1本
水……………350ml
牛乳……………200ml
固形シチュールウ……………4かけ
サラダ油……………適量



作り方

※電子レンジでの加熱時間は機種・W(ワット)数により異なりますので、お使いの機種によって調整してください。

- ①ブロッコリーは小房ごとに切り落とし、しめじは石づきをほぐします。
にんじん、玉ねぎは食べやすい大きさに切ります。
- ②①の野菜を耐熱ボールに入れてふんわりとラップをかけ600Wの電子レンジで3分加熱します。
- ③鍋にサラダ油を熱し中火で鮭の両面を軽く焼き一度取り出します。取り出した鍋に②の野菜と水を加え弱火から中火で煮込みます。
- ④野菜が柔らかくなったらいったん火をとめ、ルウを割り入れて溶かし、鮭と牛乳を加え弱火でとろみがつくまで煮込みます。



ポイント

■筋力・免疫力アップ

筋肉・骨を丈夫に保つためのカルシウムとたんぱく質が多く摂取できます。
ビタミンDの多い鮭やきのこを使うとカルシウムがより身体に取り込まれます。

■1品でバランスが整う



■みんなが食べられる

具材がやわらかく煮込まれ、ソースがしっかり絡むので野菜嫌いなお子様や固い物が食べにくい高齢の方も食べやすいメニューです。



※ご不明な点などございましたら栄養科までご相談ください

地域がん診療連携拠点病院として地域の方に

「思いやりのある緩和ケア」を届けるために

緩和ケア委員会の紹介

○委員会の概要・特色

当院の緩和ケア委員会は、すべてのがん患者さんおよびご家族のQOL(生活の質)向上のため、全人的な苦痛の緩和を行う体制作りを目的として、緩和ケアチームを主体とした活動を行っています。「緩和ケア」は決して終末期に限定したケアではありません。病気になった時から生じるつらい身体症状や、悩み・不安を和らげ、その人らしく穏やかに生活が送れることを目指し、各専門医療者全員が、委員会に参加しています。

このポスターは院内の各場所に掲示しています。「もっと近くに緩和ケア」をキャッチフレーズに、思いやりを届けられるよう、月一回委員会を開催し、前月の活動報告、各行事・研修の企画、問題提起、解決に向けた議論を行っています。また、看護師14名で構成されるがん看護チームとも連絡を取り合って活動しています。

主な協議事項

- ・緩和ケア外来・緩和ケア病床・緩和ケアチームの情報収集・活動報告
- ・緩和ケア運営に関する調整、治療方法の検討、新規薬剤・問題点の検討
- ・学会の報告、院内外の研修会企画・運営

○スタッフ構成

委員19名(緩和ケア専門医、精神科医、外科医、麻酔科医、放射線科医、緩和ケア認定看護師、がん看護専門看護師、がん性疼痛看護認定看護師、薬剤師、リハビリ専門士、公認心理師、鍼灸師、病棟看護師、事務員)



「院内緩和ケアチーム広報用ポスター」

○2023年度の主な行事

◆院内緩和ケア基準の見直し(通年)

◆院内緩和ケア勉強会(7月・11月、参加者28名)

「いつか訪れる「もしもの時」のために自身のことを考え、言葉にしてみませんか?」もしバナゲームを体験してみよう」

◆緩和ケア講演会

(11月17日、講堂にて、参加者31名)

「がんになっても安心して暮らせる社会をつくるために」石川県がん安心生活サポートハウスの取り組み」

石川県済生会金沢病院 龍澤泰彦先生

◆緩和ケア研修会(11月25日、参加者12名)

(院内外研修医、看護師、鍼灸師参加)



「院内勉強会の様子」緩和ケア医による実際の診察場面を想定したデモンストレーション



「研修会の様子」療養場所の選択と地域連携：訪問看護師の講義

◆ホスピス緩和ケア週間

(日時：令和5年10月6日～10月31日)

・テーマ：『緩和ケアとともに思いやりのあるケア (care) を届けよう』

・概要：日本ホスピス緩和ケア協会では、世界ホスピス緩和ケアデーを最終日とした1週間を「ホスピス緩和ケア週間」として緩和ケアの普及啓発に取り組んでいます。当院でも、患者さん・ご家族へ思いやりのある緩和ケアを身近に感じてもらうことを目的に、地域住民向けに広報活動を行いました。

例年では待合室の一角で緩和相談やハンドマッサージなど体験型のイベントを実施していましたがコロナ禍で、中止を余儀なくされました。今年度は、5年ぶりにポスター展示を行うことができました。



「2017年度のイベントの様子」

○緩和ケア外来

がんによる痛みなどのつらい症状を和らげる事が主な役割です。

○緩和ケア病床

つらい症状を和らげることに加えて、できなかった事ができるようにお手伝いすること、食事や入浴など日常生活のお世話をすること、などが主な役割です。安らかな最期を迎えられるだけでなく、最期のその時まで生きることとスタッフ一同願っています。また大切な方を亡くされるご家族やご友人のつらさも和らげることが出来たらと思っています。

○チーム医療

ひとの持つ苦痛や苦悩は様々で、医師や看護師だけではその苦痛や苦悩を和らげることは難しく、そのために多職種からなるチームでケアを提供しています（全人的苦痛に対するケア）。



「2023年度ポスター展示」待合に設置

ポスター（一部抜粋）「緩和ケアの各役割」



ポスター（一部抜粋）「緩和ケアの体制」

各専門分野のスタッフが患者さんとご家族に「いつでもどこでも受けられる思いやりのある緩和ケア」の提供を目指しています



ポスター（一部抜粋）「緩和ケアチーム」

これからの目標

緩和ケア委員会のメンバー全員で「思いやりのある緩和ケア」を届けるために、皆さんの暮らしと希望を支えることを目指し努力します。

となみそうごう大文化祭

11月20日～22日の3日間、外来棟3階講堂において病院職員互助会による「第39回となみそうごう大文化祭」が実施されました。患者さんや医療関係者の作品、書道や写真、手芸品、生け花など30以上の作品が並び、来場者を楽しませていました。



院長伝言板

2024年は元日に能登半島地震があり、心痛む年初となりました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。市立砺波総合病院でも発災直後の1月3日には医師・看護師・事務職からなるDMAT（災害派遣医療チーム）第1隊を派遣しました。その後、DMAT第2隊、2月7日にはDMAT第3隊の派遣に加え、災害派遣ナースの派遣も行い継続的な被災地支援を行っています。また、被災地からの患者さんの受

け入れに加え、被災により救急医療が逼迫している石川県の医療支援のために石川県の入院患者さんの転院受け入れも行っています。このような状況で地域の皆さんにはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、適正な受診を心がけていただき必要な医療の提供が継続できるようご理解とご協力をお願いします。

『患者さんの権利』

本院は、医の倫理と病院の理念及び憲章（運営の基本方針）に基づき、以下の患者さんの権利を尊重します。

1 平等で良質な医療を受ける権利

患者さんは、国籍・経済的社会的地位・年齢・性別・病気の種類などにかかわらず、平等で良質な医療を受ける権利を有します。

2 十分な説明を受け、自己決定する権利

患者さんは、既に実施された診療の内容と、これから行われようとする検査、治療の目的、方法、内容、危険性、治療の見通し及びこれに代わる他の治療法などについて、医療従事者から十分に説明を受ける権利を有します。

また、患者さんは、提供された情報と医療従事者の説明により、自身の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受けるか、又は拒否するかの権利を有します。その際、別の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞きたいという希望があれば、これを尊重します。また、これらの医療行為を拒否した場合でも、そのために不利益を被ることはなく、起こりうる医学的な結果について、知られる権利を有します。

3 情報開示を要求する権利

患者さんは、医療機関に対し、自身の診療に関する記録などの閲覧及びそれらの写しの交付を受ける権利を有します。

4 個人情報を守秘される権利

患者さんは、法令に定める場合等を除き、自身の承諾なしに、診療の過程で得られた個人情報自身に診療に直接関与する医療従事者以外の第三者に開示されない権利を有します。

なお、以上の権利を守るために、患者さんには、医療従事者に自身の健康情報を正確に伝えることや、他の患者さんの診療に支障を与えないよう配慮することなどの義務と責任が伴います。

診療案内

外来診療受付時間

□ 新 患

午前8時15分から午前11時まで

□ 再 診

午前8時00分から午前11時まで

※診療科・曜日によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

休 診 日

土・日・祝日および年末年始